


1 平成27年度 事業報告

 :マークは共同募金配分金事業で実施

1 会議の開催

会議名	開催日	内 容
理事会	H27. 5. 26	評議員の選任について 平成26年度 事業報告並びに収支決算報告について
	H28. 3. 29	評議員の選任について 平成27年度 資金収支補正予算(案)について 平成28年度 事業計画(案)並びに資金収支予算(案)について
評議員会	H27. 5. 26	平成26年度 事業報告並びに収支決算報告について
	H28. 3. 29	理事の選任について 平成27年度 資金収支補正予算(案)について 平成28年度 事業計画(案)並びに資金収支予算(案)について
児童館運営委員会 (社協運営7館)	H27. 6. 10 ～7. 1	平成26年度運営報告並びに会計決算について 平成27年度運営計画並びに会計予算について
善意銀行・芝田カナエ 基金運営委員会	H27. 6. 29	平成26年度 預託及び払出状況について 平成27年度 払出計画について 理事長感謝状の贈呈

2 高齢者福祉の推進

(1) 地域支え合い活動の推進

高齢者の総合相談窓口である区内7ヶ所のあんしんすこやかセンターの「地域支え合い推進員」や、民生委員児童委員協議会等と連携して、ひとりぐらし高齢者等を地域住民間で見守る福祉コミュニティづくりを支援した。

① 小地域支え合い連絡会の開催

地区民児協を単位に、見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、活動に関する情報交換を行うため、連絡会を開催した。

・年間開催回数 67回

② 地域ケア会議への参加

小地域支え合い連絡会の内容をうけ、あんしんすこやかセンター圏域の関係者が集まり、情報交換や地域高齢者の見守りについて話し合う、地域ケア会議へ参加した。

・年間参加回数 11回

③ 高齢者自立支援拠点「あんしんすこやかルーム」事業

新しい見守り事業形態として、平成19年度より高齢化率の高い公営住宅の住戸等を活用し、高齢者の自立を支援する拠点(あんしんすこやかルーム)づくりに努めるとともに、その運営を支援した。

<主な活動内容>

- ・見守り活動(対象住宅及び周辺住宅)
- ・健康づくり・生きがいづくり活動への取り組み
- ・コミュニティ支援への取り組み
- ・支援者間の情報交換の場としての活用

	法人名	あんしんすこやかセンター名(圏域)	ルーム名	人員	設立年月(年/月)	設立場所	対象住宅
1	ぶどうの枝	名倉あんしん	めぐみ	2	H19/10	市営房王寺住宅	同左
2	福祉会	すこやかセンター	のぞみ	1	H22/3	市営丸山東住宅	同左
3	神戸福生会	御蔵あんしん すこやかセンター	せせらぎ	2	H22/3	シューズプラザ 4階	市営神楽・細田住宅
4	駒どり	新長田あんしん すこやかセンター	てつじん	2	H23/1	アタくにづか 5番館	市営久二塚東・久二塚西・ 久二塚西ふれあい住宅
5	神戸市社協	真野真陽あんしん すこやかセンター	おちやのま	1	H23/3	浜添通 民家	市営真野住宅
計	4法人	4センター	5ルーム	8人		5ヶ所	8市営住宅

(2) 高齢者見守り調査の実施

区民生委員児童委員協議会とともに、65歳以上の単身世帯や見守りが必要となるリスクの高い75歳以上の方のみで構成される世帯を対象とした調査を実施した。

(3) ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の推進

民生委員児童委員が中心となった友愛訪問グループに対し、助成金を交付するとともに、「友愛訪問ハンドブック」を配付する等活動を支援した。

グループ数・人数	332グループ 1,573名
安否確認をおこなった回数	165,304回
対象高齢者数	2,816名

(4) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会の支援

区内のひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス事業を行うグループに対し、助成金を交付するなど活動を支援した。

グループ数	31グループ
実施回数	381回
延べ参加者数	15,936名

(5) コミュニティサポートグループ育成支援事業

①地域貢献活動推進事業

地域の実情に応じて住民が主体となって家事援助活動や友愛訪問活動等の地域貢献活動を行うコミュニティサポートグループの結成及び運営する事業に対し、支援を行った。

・事業数 2事業

②コミュニティづくり推進事業

地域住民相互の見守り活動の一層の推進を図るため、見守り活動やコミュニティづくりを目的とした活動を行う地域住民やボランティアグループの育成等を行う事業の支援を行った。

・事業数 16事業

③介護予防促進事業

地域に居住する高齢者が、いつまでも健康でいきいきと暮らし続けることができるよう、地域住民が主体となり体操等の介護予防促進活動を行うグループの結成及び運営する事業に対し、支援を行った。

・事業数 16事業

(6) 生活支援体制整備事業(「協議体」会議の開催)

平成29年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、地域で支援を要する人を地域で支え合う地域づくりを行う体制整備として、今年度長田区社協において「協議体」を設置した。「協議体」は地域団体・あんしんすこやかセンター・事業所・行政の代表者等を構成員としており、地域の課題や資源の情報共有等を図るため、今年度2回の「協議体」開催した。

第1回目・・・平成27年11月27日(金)

第2回目・・・平成28年2月19日(金)

(7) テレフォンサポート事業の実施

週2回、火・木曜日の午後に、ボランティアにより、ひとりぐらし高齢者宅へ電話等によるお元気確認を行った。また、概ね月1回連絡会を開催し、高齢者福祉に関する学習会や情報提供を行い、ボランティアの育成に努めた。

・ボランティア 6名 対象高齢者 12名 実施回数 94回

(8) 歩行杖の交付

善意銀行の預託金を活用して購入し、区内在住の70歳以上の希望者等に歩行杖を有料交付した。

- ・交付本数 291本



(9) 高齢者マッサージ奉仕の実施

区視力障害者福祉協会、鍼灸マッサージ師会、ふれあいのまちづくり協議会等の協力を得て高齢者マッサージ奉仕を年2回実施した。

- ・平成27年6月12日(金) 10:00~13:30 二葉ふれあいのまちづくり協議会 参加者34名
- ・平成27年9月11日(金) 10:00~13:30 志里池ふれあいのまちづくり協議会 参加者26名

(10) 高齢者支援の調査・研究

高齢者の日常生活支援の仕組みについて検討するにあたり、地域の実情を把握するため、丸山地区民生委員児童委員協議会の協力を得てアンケート調査を行った。

- ・対象 要見守り高齢者、地域支援者、地域行事の参加者など
- ・調査期間 平成28年2月2日~3月1日
- ・アンケート回収数 450枚

3 子育て支援・児童福祉の推進

(1) 市社協児童館の管理・運営

区内にある10館の児童館のうち神戸市社会福祉協議会が指定管理者となっている市立児童館7館・学童保育コーナー2コーナーについての管理・運営を行った。

	児童館名	年間利用者数	平均利用者数	放課後児童クラブ登録児童数 (平成27年度末)
1	真野児童館	13,743名	47名	31名
2	志里池児童館	12,071名	41名	30名
3	長楽児童館	16,000名	55名	47名
4	片山児童館	20,145名	69名	50名
5	池田児童館	19,101名	65名	51名
6	長田児童館	12,237名	42名	12名
	御蔵学童保育コーナー	8,784名	30名	31名
7	細田児童館	38,212名	130名	64名
	蓮池学童保育コーナー	9,896名	34名	45名
	社協運営児童館 計	150,189名	57名	361名

(年間開館日数 293 日)

<参考：他団体運営児童館>

児童館名	年間利用者数	平均利用者数	放課後児童クラブ登録児童数 (平成27年度末)
五位の池児童館 (運営：神戸新生福祉会)	8,761名	30名	31名
駒栄児童館 (運営：近田幼稚園)	21,826名	74名	59名
大日丘児童館	9,146名	30名	19名
丸山学童保育コーナー (運営：雲雀ヶ丘福祉会)	2,468名	8名	17名
計	42,201名	36名	126名

(2) 区内児童館の運営支援

区社協子育てコーディネーターが市社協運営の児童館7館、学童保育コーナー2コーナーと駒栄児童館、五位の池児童館、大日丘児童館（丸山コーナー）の運営支援を行った。

① 児童館巡回支援 94回

(親子館事業 放課後児童クラブ 児童館事業 事務 その他 巡回)

② 児童館指導員研修会の開催

児童館職員の研修会を開催した。

ア. 指導員研修会 3回 (7月15日、9月11日、10月2日)

イ. 放課後児童支援員研修会 2回 (5月19日、11月10日)

③ 拠点児童館事業の推進支援 <細田児童館>

総合児童センターと連携し、専門講座の開催、また区との連携事業を支援した。

講 座	実施期間(回数)	参加者数
①赤ちゃん講座 (実施場所 五位の池児童館)	H27. 10/19～11/9 (4回)	10組 20名
②赤ちゃん講座 (実施場所 細田児童館)	H28. 1/25～2/15 (4回)	10組 20名
③探してみよう！親と子のコミュニケーション	H27. 6/9～7/7 (5回)	10名
④感覚運動講座	H27. 7/3～7/17(3回)	19名
⑤はじめのだいっぽ (新米ママ、プレママの地域デビュー支援)	H27. 9/14～11/10 (5回)	延べ27組 65名
⑥パンパカ(ぢから)講座 (なかよしひろば参観、前髪カット、手相占い・ベビーマッサージ、カメラ)	H28. 1/9～1/30 (4回)	延べ54組 124名
⑦長田からのムーブメント ～乳幼児保護者への啓発～	H28. 2. 16	22名

(3) 地域の子育て支援

① 出前児童館の実施

児童館が近くにない、または、学校の長期休業期間中などの理由により、児童館を利用しにくい乳幼児親子が集える場をつくることを目的に、児童館職員の協力を得て「出前児童館」を実施した。

【「よーせて！ひろば」として区こども保健係、地域子育て応援プラザ長田と共同開催】

日 時	場 所	参加者数
平成27年7月22日(水) 10:00~12:00	特別養護老人ホーム「長田ケアホーム」	大人6名 幼児7名 高齢者 17名
平成27年7月23日(木) 10:00~12:00		大人12名 幼児16名 高齢者 18名
平成27年8月5日(水) 10:00~12:00	高齢者ケアセンターながた サテライト宮丘	大人6名 幼児7名 高齢者 13名
平成27年8月6日(木) 10:00~12:00		大人5名 幼児6名 高齢者 16名
平成27年8月26日(水) 10:00~12:00	特別養護老人ホーム「ふたば」	大人6名 幼児7名 高齢者 19名
平成27年8月27日(木) 10:00~12:00		大人12名 幼児12名 高齢者 23名

② 子ども安全マップ活動事業

児童館が地域住民等の協力を得ながら、子どもの被害防止能力や危険回避能力の向上をめざし実施した。

<実施館 片山児童館>

- ・日 時 平成27年10月31日(土) 9:30~12:30
- ・内 容 地域を歩き、危険な場所、安全な場所を知る。安全マップ作り
- ・参加者数 34名

③ 地域で子育て元気アップ事業

地域の人材を活かし、子育て力の向上と地域ぐるみの子育てに寄与するために、実行委員会を結成し、世代間交流事業を実施した。

<実施館 細田児童館>

- ・日 時 平成27年11月23日(月 祝) 10:00~12:30
- ・内 容 ミッション イン ほそだ~君はクリアできるか?~
昔遊びにチャレンジした後、公園で「逃走中」(しっぽとりゲーム)をし、その後、カレーを食べながら地域の方と交流。
- ・参加者数 272名

④ PAPAプロジェクトの実施

父親の育児参画を促し、子育て家庭における夫婦の調和、親子の絆を確かなものにする。また、地域における子育て支援に父親が参加し、育児参加の推進を目的に実施した。

- ・日 時 平成28年2月7日(日) 14:00～15:00
- ・場 所 細田児童館
- ・内 容 くぼたまさと☆工作ショウ
- ・参加者数 53組 175名 (父親25名 母親57名 子ども93名)

(4) 子育てコミュニティ育成事業(児童館の休日開放)の推進

地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図るため、各児童館施設を休日に活用して、施設開放や行事を開催することにより、コミュニティ作りを支援した。

- ・実施団体 地区民児協、主任児童委員連絡会、婦人会、子ども会、青少協、ふれまち協、小・中学校PTA、自治会、ボランティア等
- ・実施内容 自由開放、工作教室、おやつづくり、料理教室、季節のおまつり等
- ・実施児童館 区内児童館全館

⑤ 小地域子育て支援ネットワークの推進と組織化

地域組織や事業者、学校、施設、行政等が、児童館を拠点とした小地域単位で連携し、情報交換や課題検討を行うことによって、地域の子ども達が健やかに育つための環境づくり(場づくり・人づくり等)を目的とした連絡会を支援した。

【平成27年度実施地区】

	校 区	事務局
1	真陽小学校区	駒栄児童館
2	池田・長田小学校区	池田児童館
3	室内・御蔵・水木小学校区	長田児童館
4	駒ケ林小学校区	長楽児童館
5	蓮池小学校区	細田児童館

(6) 区内児童館合同行事の実施

わくわく☆おたのしみ会

- ・目 的 2～3歳児を在宅育児中の親子のうち、児童館のすこやかクラブに登録している会員同士の交流
- ・日 時 平成27年7月16日(木) 10:15～11:30
- ・場 所 長田区役所7階 大会議室
- ・対 象 区内児童館(10館)のすこやかクラブ会員親子
- ・参加者数 親子66組 146名

(7) 区内保育所(園)合同行事の実施

「第30回長田区保育園・保育所5歳児地域交流会」の開催

- ・目的 公立、私立の保育所(園)の5歳児が、老人クラブ、主任児童委員と共に運動会遊びをして、世代間交流を図る。
- ・日時 平成27年10月23日(金) 9:40~11:30
- ・場所 兵庫県立文化体育館
- ・参加者数 609名 (5歳児388名、老人クラブ89名、その他132名)

(8) 長田区こども保健係等との連携

こども保健係等と連携をとりながら下記の事業に参加した。

① 「カンガルーフェスタ」への協力

児童館コーナー内容:「親子であそぼう(チラシ遊び)」

- ・日時 平成27年12月4日(金) 9:30~12:00
- ・場所 長田区役所6階・7階
- ・参加者数 親子 154組 369名

② 情報誌「よーせて!」の発行

「こども保健係」「地域子育て応援プラザ長田」と連携し、区内の子育て支援情報をまとめ、情報紙を発行した。(発行回数 6回)

③ 子育て支援ネットワーク実務者会議などへの参加

④ 出前児童館を「よーせて!ひろば」として実施【再掲】

(9) 絵本を通じた子育て支援事業の実施

絵本の有効活用と絵本を通じた子育て環境の整備、学生ボランティア活動の拠点づくりを目的に「絵本こうかん市場」を開設。長田中央市場、神戸常盤大学、委託団体と連携をとりながら運営を行った。

絵本こうかん市場の開設、運営

- 【1号店】 設置日 平成20年5月
設置場所 長田中央市場内
運営協力 池田婦人会
(平成27年度より特定非営利活動法人輝いけだから
実施主体を変更)

- 【2号店】 設置日 平成21年2月
設置場所 カフェ&ベーカリー ふらわあぽえむ
運営協力 特定非営利活動法人 中央むつみ会
(平成27年度をもって、設置を終了。)

【3号店】	設置日	平成21年12月
	設置場所	放課後等デイサービス よりみちクラブ
	運営協力	合同会社らっかす（平成26年4月～） （『カフェ パセリとはなこ』が別法人化・名称変更）



(10) 子ども会諸活動の支援

区子ども会連合会が実施する親子の交流活動に対して助成を行った。

4 障がい者福祉の推進

(1) 長田区自立支援協議会への参画

区内の障がい者福祉関係団体によって設立された「長田区自立支援協議会」に区健康福祉課とともに運営委員として参加し、障がい者団体の活動を支援した。



(2) 障がい者福祉団体への支援

障がい者福祉団体の活動を推進するため5団体に対し助成を行った。

(3) 障害福祉サービス事業所等の支援

善意銀行や歳末たすけあい募金の財源で、障害福祉サービス事業所等16施設に対し活動助成を行った。

(4) 手話講座（入門編）の開催

手話の実技を通して、聴覚障がいのある方への理解と知識を身につけるため手話講習会を実施した。

- ・開催期間 平成27年4月7日～平成27年9月15日（全22回）
毎週火曜日 18:30～20:30
- ・参加者数 延べ 299名（応募者 18名、受講者14名、修了者 13名）

(5) 子ども手話講座の開催

小学生を対象に手話と聴覚障がいのある方に対する理解を深めてもらうための子ども向け手話講習会を実施した。

- ・開催日 平成27年7月30日（木）14:00～16:00
- ・参加者数 20名

(6) 小規模作業所新商品開発実行委員会への参加

障がいのある方々が作る商品を開発・改良していくために結成した委員会の事務局を運営した。

- ・商品開発会議～「改革の日」の開催（12回、毎月5日）
- ・商品展覧会～「見本市」の開催（平成27年11月22日一七市拡大版にて）
- ・商品開発のための研修～「ツボ講座」の開催（平成27年7月22日）
- ・商品カタログ作成のための助成金申請

（神戸やまぶき財団平成27年度（第1回）社会福祉助成金）

5 ボランティア活動・福祉教育の推進

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター事業の強化、向上を図るため、事業計画の助言や事業評価を行う「ボランティアセンター運営委員会」を開催した。

- ・開催日 平成27年6月24日(水) 14:00～15:00
- ・内容 平成26年度事業報告及び事業評価について
平成27年度事業の実施に関して

(2) ボランティアコーディネーションの実施

長田ボランティアセンター・それいけネットワークの運営を通じ、誰でも気軽にボランティア活動に参加できる基盤づくりに努めた。

① コーディネート業務 (ボランティア活動に関する登録・相談・受付・紹介・調整)

- ・ボランティア登録数 個人 103名 グループ 190団体 (H28.3末)
- ・ボランティアしたい(相談含む)件数 延べ 41件
- ・ボランティア依頼(相談含む)件数 延べ 60件
(※その他の相談件数 延べ 398件)
- ・活動成立件数 52件 (H28.3末)

② ボランティア活動の支援

- ・兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の受付 594件
- ・県民ボランティア活動助成の受付 56件 (実助成受領団体 54件)
- ・古切手、使用済みカードの収集・整理活動 11回
- ・ボランティア交流会の開催 平成28年7月10日(金)

③ ボランティア講座の開催

講座名 / 内容 / 特徴	開催期日	参加者数
サンタ団共催講座 地域行事へのボランティア参加 ①夏越ゆかた祭 ②おやつはべつばら長田祭	平成27年7月18日(土) 平成27年10月17日(土)	11名 4名
中高生向けボランティア体験「夏ボラッ!!2015」 『長田神社できもだめし』	平成27年8月9日(日)	中学生9名 その他4名
団体向け講座グループ虎の巻 助成金講座 ・ひょうごボランティア基金申請方法 ・その他助成財団の紹介 ・ボランティア交流会 (助成金講座終了後実施)	平成27年7月10日(金)	38名
みんなのふくし講演会 「困難を乗り越え強く生きる ～人と人助け合う心、人間として最も大切なこと～」 講師 濱宮 郷詞氏	平成27年11月8日(日)	76名
神戸常盤ボランティアセンターとの共催講座 災害ボランティアセンター立上訓練	平成28年3月2日(水)	33名

(3) 地域団体等との協働の取り組み

区内のボランティア、NPO が協働で行う各種実行委員会の主催や参加を行った。

① 小規模作業所 新商品開発実行委員会への参加（事務局）【再掲】

② 「1.17KOBE に灯りを in ながた」実行委員会への参加

阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼行事として開催される、ろうそくに灯りをともす市民参加型の本事業の事務局を担い、実行委員会を運営した。

・日 時 平成 28 年 1 月 17 日（日）10:00～21:00

（雨天のため 20:00 に撤収）

・場 所 新長田駅前広場

・内 容 ろうそくへの点灯、追悼ライブ、震災の記憶を風化させないよう情報を発信した。

* 「ろうそくづくり」には、神戸保育園、神戸常盤大学附属ときわ幼稚園、北須磨保育センター、長田南小学校、蓮池小学校、兵庫大開小学校、駒ヶ林中学校が参加。ろうそくづくりにあわせて、震災体験や減災への取り組みを講義した。（神戸保育園は講義のみ実施）

* 「東北被災地支援・交流コーナー」では、兵庫県立大学の協力により、被災者と学生やスタッフ、来場者との交流を行った。

③ いちばで元気運営委員会への参加

子どもいちばの実施

小学生が近隣の障害福祉サービス事業所を訪問して商品作りに参加し、作成した商品を長田中央市場で販売する等、障害福祉サービス事業所と連携をとりながら実施する福祉教育プログラム。

・実施日 室内小学校 平成 27 年 10 月 23 日（金）

長田小学校 平成 27 年 11 月 27 日（金）

宮川小学校 平成 28 年 1 月 22 日（金）

④ ユニバーサルデザイン普及のための活動

長田区におけるユニバーサルデザインの普及をめざし、次の事業を実施した。

ア. CD 版「福祉教育・ボランティア学習のてびき」「ユニバーサルデザイン編」の販売

イ. ユニバーサルデザイン体験グッズの貸し出し

ウ. 長田区ユニバーサルデザイン研究会への参加

◇研究会定例会への参加（12回、毎月第3木曜日）

- ◇「長田フェスティバル」へのUDブース参加
 - 日 時 平成27年5月16日(土) 9:30~18:00
 - 場 所 新長田駅前・若松公園・鉄人広場
- ◇出張授業への講師協力



⑤ 一七市拡大版(福祉フェア)の開催

区内の障害福祉サービス事業所等が中心となり、小学校や企業が連携したイベント「一七市拡大版2015」を開催した。「あの日の思いやりの心を忘れぬために」をテーマに年1回開催しており21回目の開催となった。

- ・日 時 平成27年11月22日(日) 10:00~15:00
 - ・場 所 鉄人広場(新長田)
 - ・内 容 障害福祉サービス事業所等の出店やステージアトラクションなど
- *特別企画として、震災時と現在の長田のまちの写真パネル展示や「ポスターでふりかえる一七市拡大版」として過去のポスター展示を行った。

(4) 福祉教育・ボランティア学習の支援

備品の貸し出しや教材の発行並びに福祉教育プログラムの作成支援を通して、福祉教育・ボランティア学習の推進を図った。

① 体験学習のための車いす・アイマスク等の貸し出し

貸出件数：福祉教育等	25件
ボランティア学習等	13件
その他	14件

② 講師紹介及び福祉教育プログラム作成支援・体験学習授業

実施回数 16件

実施校 池田小、五位ノ池小、宮川小、室内小、丸山小、長田南小、蓮池小、駒ヶ林小、長田小、雲雀丘中

③ 『福祉教育・ボランティア学習のてびき』の発行

ア. CD版「福祉教育・ボランティア学習のてびき」の販売

- ・発行年度 平成16年度
- ・販売総枚数 1,190枚(27年度販売枚数2枚)

イ. CD版「ユニバーサルデザイン編」の販売

- ・発行年度 平成19年度
- ・販売総枚数 394枚(27年度販売枚数2枚)

④ 中学生向け福祉教育プログラム

中学生向け福祉教育プログラムとして、地域行事を通じたボランティア活動体験の機会づくりを行った。

- ・中高生向けボランティア体験「夏ボラッ!!2015 長田神社できもだめし」を実施

平成27年8月9日(日) 参加者 延べ 9名

⑤ 「認知症学習会」の開催

認知症に対する理解普及のための授業事業を小学校で実施した。

日 時 平成27年11月12日(木) 10:45~12:25

場 所 池田小学校

参加者数 3年生児童 48名(2クラス)

(5) 神戸常盤ボランティアセンターと連携事業の実施

- ・神戸常盤ボランティアセンター運営委員会への参加
- ・災害ボランティアセンター立上げ訓練の実施

6 地域福祉の推進

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金に協力するとともに、募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動への助成などの事業を行った。

① 共同募金運動

(平成27年度募金実績)

		内 訳	
目標額	6,433,000円	広域目標額 2,069,000円	地域目標額 4,364,000円
実績額	5,366,795円 (達成率83.4%)	広域実績額 2,069,000円	地域実績額 3,297,795円

(平成27年度配分実績) *平成26年度募金実績による平成27年度配分金

分野	配分先	金額
高齢者	地区民児協、区老連、老人いこいの家等	398,080円
	高齢者マッサージ奉仕事業、敬老会タオル助成	336,986円
障がい児・者	障がい児・者福祉団体(視力、聴力・言語、重心父母の会、手をつなぐ育成会)	262,160円
児童・青少年	児童福祉団体(区子連、青少協、少年団野球)、小地域子育て支援ネットワーク、母子福祉たちばな会	493,780円
その他	区民児協、体協、保護司会、遺族会、婦人会、一七市拡大版実行委員会、住民活動拠点立上げ助成	1,133,240円
	広報紙等による福祉情報提供	1,257,754円
合計		3,882,000円

② 歳末たすけあい募金運動

11月中旬から12月中旬にかけて、区自治会連絡協議会・区連合婦人会・区民生委員児童委員協議会が中心となり募金運動を実施し、多数の区民や団体から募金が寄せられた。

なお、平成27年度においては、共同募金検討委員会を新たに設置し、歳末たすけあい募金の運動方法や配分先について見直しを行った。

(平成27年度募金実績)

目標額 4,800,000円

実績額 3,786,694円 (達成率 78.9%)

(平成27年度配分実績) 11月18日に開催された配分委員会で審議

配分先	件数	金額
単身高齢者等見守り活動支援 (カインダー)	11,000名	665,280円
交通遺児	7名	35,000円
障害福祉サービス事業所への助成	16ヶ所	800,000円
給食サービスグループ	27グループ	977,952円
歳末たすけあい募金活動に伴う助成	16団体	373,600円
合計		2,851,832円

(2) 民生委員児童委員協議会との連携

① 高齢者見守り調査の実施【再掲】

② 生活福祉資金の貸付相談及び受付

低所得者・高齢者・障がい者世帯の経済的自立と生活の安定のため、相談及び申請受付を行った。

また、平成27年4月から生活困窮者自立支援法に基づき、新たに区に設置された「くらし支援窓口」と連携し、生活困窮者等の自立支援に向け生活支援費等の貸付申請受付を行った。
(相談件数：延べ1,853件)

資金種類	件数	金額	備考
総合支援資金 (①生活支援費・②住宅入居費・③一時生活再建費…※)	6件	1,403,811円	生活支援費2件600,000円 住宅入居費2件393,811円 一時生活再建費2件410,000円
緊急小口資金	6件	507,000円	自立支援有り2件、その他4件
福祉資金 (転宅費)	2件	365,000円	転居1件250,000円 風呂改修1件115,000円
福祉資金 (その他一時的必要経費・ケアー設置費)	4件	358,000円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・風呂給湯器設置費)	2件	402,000円	
福祉資金 (技能習得費)	2件	3,836,800円	支度費+支援費

教育支援資金(就学支度費・教育支援費)	42件	15,736,000円	再申請の為の辞退1件、辞退7件、 減額2件 減額の計3,050,800円
合 計	64件	22,608,611円	

③ 指定地区民児協活動の支援

平成27年度は長田中央西部地区が神戸市社会福祉協議会指定を受け、同地区民児協は課題として設定した事業に重点的に取り組み、区社協は支援のため助成を行った。

(3) 要保護者緊急援護資金の償還業務

要保護世帯で緊急に費用が必要となる世帯への貸付に係る償還業務を行った。

- ・償還件数 12件
- ・償還金額 12,000円

(4) 善意銀行の運営

広く区民や企業や団体から善意の預託を受け、地域福祉を推進する団体等に払い出した。

① 預託状況

- ・金銭預託 82件 2,086,215円
- ・物品預託 20件(日用品、食品、チケット等)
- ・技術預託 4件(施設児童の七五三参りの衣装貸出、着付け、記念写真撮影等)

② 払出状況

- ・金銭払出(振込手数料含む)

分野	内 容	件 数	金 額
高齢者福祉	歩行杖の購入	400本	423,360円
	音楽コンサートチケットの購入	120枚	100,000円
	窓口貸出用老眼鏡購入費	5本	10,800円
障がい者福祉	障がい者団体等への助成	6団体	180,000円
	小規模作業所への助成	16団体	477,652円
被災者支援	火災・水害等の見舞金	3件	80,000円
貸出用機材等	貸出車いす購入費・修繕費	購入2台	68,236円
その他	助成金等の振込手数料		13,068円
合 計			1,353,116円

- ・物品払出 (区内社会福祉施設、団体、ボランティアグループ等)
- ・技術払出 (児童福祉施設1施設)

③ 物品貸出の状況

- ・車いす貸出事業

139件

(5) 芝田カナエ基金の運営

長田の子どもたちの幸せを願う寄付者の希望に沿って、児童の福祉を推進する行事等の支援を行った。

また、平成27年12月に新たに2,000,000円の寄付金の申し出を受理した。

内 容	金 額
交通遺児への支援	140,000円
区内児童福祉施設等の備品購入助成	300,000円
子ども会行事への助成	20,000円
5歳児地域交流事業	103,386円
絵本こうかん市場管理費	72,000円
児童館合同行事	80,000円
家庭養護促進協会への支援	27,000円
赤ちゃんホームに対する物品購入助成	30,000円
その他	50,000円
その他(助成金等の振込み手数料)	5,508円
合 計	827,894円

(6) 広報啓発活動

① 広報および福祉情報の提供

ア. 区社協広報紙「それいけながたNo.31・No.32」の発行

- ・発行回数 年2回(9月・3月)
- ・発行部数 98,000部(49,000部×2回)

イ. ボランティアセンター情報誌「季刊それいけながた」の発行

- ・発行回数 年4回(平成27年6, 9, 12月, 平成28年3月)
- ・発行部数 約1,200部(約300部×4回)

ウ. 区社協ホームページの運営 <http://www.nagatavc.org/>

エ. 「週刊それいけながた」の放送(地域FM局「FMわいわい」による情報発信)

番組を利用し、ボランティアセンターの事業や福祉教育、地域イベント情報等を発信した。(毎週火曜日 12:30から15分間放送) 年間52回放送
(平成27年度末、FMわいわいのFM放送終了に伴い、「週刊それいけながた」終了)

② 福祉教育教材の作成、発行

ア. CD版「福祉教育・ボランティア学習のてびき」の販売【再掲】

イ. CD版「ユニバーサルデザイン編」の販売【再掲】

(7) 福祉講演会の開催【再掲】

日 時 平成27年11月8日(日) 14:00~15:30
テーマ 「困難を乗り越え強く生きる
～人と人助け合う心、人間として最も大切なこと～」
講 師 濱宮 郷詞氏
参加者数 76名

(8) 施設部会活動【再掲】

第30回長田区保育園・保育所5歳児地域交流会」の開催

目 的 公立、私立の保育所(園)の5歳児が、老人クラブ、主任児童委員と共に運動
会遊びをして、世代間交流を図る。
日 時 平成27年10月23日(金) 9:40~11:30
場 所 兵庫県立文化体育館
参加者数 609名 (5歳児388名、老人クラブ89名、その他132名)

(9) 長田区成年後見制度[長田相談室]の運営

神戸市成年後見支援センター(神戸市社協)が実施する成年後見制度のしくみや利用の
手続きを説明する「長田相談室」の開催について、運営・広報等の協力を行った。

- ・日 時 毎月第4金曜 13:30~15:30
- ・場 所 長田区役所3階 相談室 ※受付は4階 長田区社協
- ・相 談 員 神戸市成年後見支援センターが実施する「市民後見人養成研修」を修了した
市民後見人候補者
- ・相談状況 開催回数: 12回 相談件数: 9件

(10) 地域福祉ネットワーク事業

既存制度では解決できない問題や、地域の人々がまだ問題と認識していない福祉課題などにつ
いて地域住民や団体、行政、専門機関などと話し合う場を持ち、協力して問題解決の仕組みづ
くりに取り組んだ。

① 個別相談対応

- ア.個人の相談 ・相談受付件数 40件
- イ.地域の相談 ・相談受付件数 16件(平成26年度からの継続分 2件含む)

◆個別相談対応のうち、個人のケースについては本人、家族、民生委員、公的機関などさまざまところからの相談を受付。ゴミ問題を抱える若年世帯や不登校の子どもに関するケース等では訪問・関係機関との連絡調整などの支援を行った。

◆地域のケースでは、生活支援団体や住民の集い場の立ち上げ・運営支援などを行った。



② 長田区北部における地域生活支援ネットワークづくり

坂や階段が多く、高齢者が気軽に外出しにくいという地形的な課題を持つ長田区北部で高齢者の集いの場を作るため、民生委員を中心にあんしんすこやかセンターとも協力し場所探しや支援者グループの立ち上支援を行った。その結果、新たに4か所で喫茶や介護予防を兼ねたお茶会を開催するに至った。

③ 大規模住宅等における生活支援グループ育成支援

市営房王寺住宅の生活支援グループの立ち上げ

平成27年4月29日(水・祝) 市営房王寺住宅住民交流会 開催

豚汁・おにぎりの炊き出し200食、防災グッズ作り体験など

④ ネットワーク事業の研修・会議出席

平成27年度 研修・会議出席件数 78件(平成28年3月現在)

※主な研修 事例検討会 全3回、CSW(コミュニティ・ソーシャルワーカー)研究会 全3回
コミュニティワーク研修、地域生活支援ワーカーリーダー研修 等

※主な会議 NW(ネットワーク)事業担当者連絡会(月1回)

民児協定例会・小地域支え合い連絡会 等

⑤ 外出・買い物支援の仕組みづくり

ア.コープ第三地区本部との勉強会

平成27年度 5回(7/28、8/18、10/5、12/22、3/28)

イ.宝塚市 UR逆瀬川団地 移動販売車巡回に併せた「ふれあいカフェ」視察

ウ.買い物・外出に関するアンケート調査 ※地域福祉推進基金 高齢者支援調査研究事業

対象：丸山地区

実施期間：平成28年2月～3月

アンケート回収数：450件